

縦走分科会 伊予ヶ岳・富山

山行日：2019年3月16日(土)

コース：天神町郷バス停 10：35－伊予ヶ岳(南峰) 11：50／11：55－伊予ヶ岳(北峰)
12：05／12：30－南峰 12：40－六地藏登山口 13：25－富山東登山口 14：20
－富山 15：00／15：10－伏姫籠穴 15：50－岩井駅 16：25

新松戸 7:02 武蔵野線をいつもとは反対に乗り南房総に向いました。天気予報によりますと 午前中は雨が残り昼頃から回復との事 千葉を過ぎた辺りから道路が濡れていました。

岩井駅に降り立ちますと 曇りながら明るい空になっていました。ここから町営路線バス・トミー号に揺られて 20分ほどで天神郷バス停に着きました。

アッ！ 前方に奇岩が聳えている。透かさずリーダーの声「房総のマッターホルン？こと伊予ヶ岳です。」平群(平久里)天神社の案内版によりますと 四国の石鎚山は別名「伊予の大岳」と言われ その名に因みつけられたそうです。千葉県で唯一「大岳」の付く山です。

神社脇から登山開始し 頂上直下の肩辺りに東屋と展望台があり休憩しました。ここから頂上は見えません。その後頂上を目指し直進し 細く険しい道となり途中に上級者向けの看板があり 更に進むと徐々に踏み跡がなくなってきました。リーダーは戻る決断 20分程度のロスで済みました。

展望台から左へ進むと いよいよ本番！ 殆んど崖に近い所をロープや鎖を頼りに ハードなコースが続きます。3点支持をしっかりと行えば大丈夫！ すると自信と達成感が湧いてきました。

南峰頂上は鎖が張られていて 雨乞いの青龍権現が祀られていました。天狗伝説もあるそうです。霞んでいましたが眺望がよく 1週間前訪れた三浦半島から眺めた双耳峰の富山が 裏側からも同じ雄姿で妙に感心してしまいました。南峰ではすでに昼食を摂っているパーティーがおりましたので 私達は3畳位の北峰で怖々車座になり昼食を摂り眺望を楽しみました。

次は富山めざし里歩きです。山野草を愛でフキノトウ・セリを摘みながら1時間弱で富山へ到着です。皇太子殿下が登られているのでよく整備されておりました。リーダーのお陰で南房総の名峰2座と南総里見八犬伝の舞台を訪ねる事が出来ました。同行の皆さん 楽しい山行になりありがとうございました。



伊予ヶ岳より望む富山



伊予ヶ岳山頂にて